

2011年1月25日

阪神電気鉄道株式会社
近畿日本鉄道株式会社

阪神なんば線開業に伴う相互直通運転について
「東記念賞」を受賞！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）と近畿日本鉄道株式会社（本社：大阪市天王寺区、社長：小林哲也）は、阪神なんば線開業に伴う相互直通運転について、鉄道の運転業務の分野に画期的な功績のある者を社団法人日本鉄道運転協会（協会：東京都台東区、会長：小野純朗）が表彰する「^{ひがし}東記念賞」を1月28日に受賞いたします。

これは、相互直通運転に際し両社の運転業務・車両設備はもとより作業方法等、数多くの相違を克服して阪神三宮から大阪難波を經由し近鉄奈良に至る広域交通ネットワークを実現させ、お客様の利便性を大きく向上させるとともに関西圏の鉄道輸送の活性化に大きく貢献したことが評価されたものです。

東記念賞

昭和34年に社団法人日本鉄道運転協会の初代会長である^{ひがしよしたね}東義胤氏のご遺贈金を基金とし、鉄道の運転業務の分野に画期的な功績のある者を表彰し、併せて氏のご遺徳をたたえることを目的として設定した賞。鉄道の運転業務の分野において、技術革新、保安度向上、近代化、業務刷新等に画期的な功績があった者を対象として、毎年行っている。

以上